

相模原市営斎場指定管理者選考委員会の議事概要及び選考の概要

< 選考委員会の議事概要 >

1 日時

令和4年10月3日(月) 午前10時00分～午後3時00分

2 会場

相模原市役所会議室棟 第4会議室

3 出席者

(1) 相模原市営斎場指定管理者選考委員会委員 4名

(2) 事務局(市民局区政推進課斎場準備室) 3名

4 選考委員会の委員の構成

(1) 大学教授 1名

(2) 民間事業者 1名

(3) 公認会計士 1名

(4) 市職員 1名

5 公開の可否

相模原市営斎場指定管理者選考委員会設置要綱第8条により非公開とした。

6 議題

(1) 進行説明

(2) 提案説明会

(3) 評価

(4) 意見交換、最終評価

7 議事概要

(1) 事務局による提案説明会の進行及び評価について説明

(2) 申請団体による提案説明、質疑応答

ア イービス・グループ有限責任事業組合(参加者2名)

イ 相模トリアム・五輪・宮本工業所企業体(参加者5名)

(3) 各選考委員会委員が評価基準に基づき評価

(4) 事務局が各申請団体の合計得点を集計し、選考委員会委員で意見交換の上、選考した。

(主な意見)

・イービス・グループ有限責任事業組合の提案は、ウェブサイトの立ち上げ、ウェブアンケートの実施やデジタルサイネージの活用等、斎場からの情報発信や利用者からの意見収集

に工夫がみられる。

- ・ イージス・グループ有限責任事業組合は、火葬計画について具体的なタイムスケジュールが示されていない等、全体として募集要項及び仕様書の内容を汲み取れていない曖昧な提案が散見された。
- ・ イージス・グループ有限責任事業組合の提案は、人員配置が非常時に対応できる人員数が疑問が残る。
- ・ 相模トライアム・五輪・宮本工業所企業体の提案は、増加する火葬需要に対応するため、夕方に会葬者なしの予約枠を設ける等、具体的な火葬計画の提案がある。
- ・ 安定した斎場運営という視点から、相模トライアム・五輪・宮本工業所企業体は非常時の対応について全国はもとより県内他斎場（10斎場）とのネットワークがあることが強みとなっている。
- ・ 相模トライアム・五輪・宮本工業所企業体は、長年の経験に基づいた提案となっているが、利用者満足度調査の調査手法や利用者意見の収集方法、情報発信方法や人員配置、自主事業の展開について、新たな工夫がほしい。

提案説明及び選考にあたっては、申請団体及び構成企業名を伏し（ブラインド化）選考を行った。

< 選考の概要 >

1 選考結果

相模トライアム・五輪・宮本工業所企業体を指定管理者候補団体とし、イージス・グループ有限責任事業組合を指定管理者次点候補団体とした。

2 選考理由

- (1) 評価基準に基づく各選考委員会委員の評価の結果、最低基準点を超え、かつ最も高い得点を得たこと。
- (2) 各評価項目において、施設設置目的に照らして適正な施設運営が行われる水準を満たしており、かつ、市民サービスの向上が図られるものと評価したこと。
- (3) 候補団体の経営状況が良好であり、継続的な管理運営が期待できること。

3 評価基準・評価結果

- (1) 指定管理者候補団体（相模トライアム・五輪・宮本工業所企業体）及び次点候補団体（イージス・グループ有限責任事業組合）の評価基準に基づく評価結果は、次のとおりです。

評価項目		配点	候補団体	次点候補団体
事業計画書に対する評価				
内訳	指定管理者の適正	40	28	28
	管理運営方針	40	28	24
	地域活性化	60	45	42
	計画事業（自主事業を除く）	80	60	32
	自主事業	20	12	13
	利用者ニーズ	60	39	45
	維持管理計画	80	64	56
	人員配置	40	28	28
	安全管理及び緊急時の対応	60	45	39
	適正な管理・経理	40	24	22
小計		520	373	329
収支計画・経費的效果に対する評価				
内訳	収支計画の妥当性	40	18	28
	指定管理料の削減【定量評価項目】	20	4	20
	利益の還元【定量評価項目】	20	12	12
小計		80	34	60
管理能力に対する評価(団体本体に対する評価)				
内訳	団体の経営状況	40	34	26
	団体の管理能力	40	28	26
	労働環境の適正性	40	24	26
小計		120	86	78
合計		720	493	467

合計得点における最低基準点は360点としました。